

YOSHINAKA PRESS Vol.5

発行：おざわ良央事務所 HP ozawayoshinaka.com
〒250-0042 神奈川県小田原市萩窪166 TEL 0465-35-0001 FAX 0465-35-4666

県議会予算委員会

よしなか

おざわ良央 黒岩知事と論戦！

去る10月7日、平成27年度第3回定例会の予算委員会にて、おざわ県議と黒岩知事の初の質問戦が行われました。

自民党県議団の内部調整を経てのおざわ県議の質問は、①小児の慢性特定疾病患者に対する新たな支援制度について、②県施設の民間業者への経営委託、指定管理制度の拡充についての2件でした。

①は、小児がんや慢性腎炎等の特定疾患により、長期療養を余儀なくされている子供達や保護者を県としてどう支えて行くか、今年1月の国の医療費助成制度改正により、どう変わるか等々質問。ダウン症等新しく補助対象となった疾病等を含め、県として支援対策の一層の拡充を期するよう要望致しました。

②については、多くの県施設が指定管理者制度に移行する中で、特に、民間委託業者の選定の妥当性や経費の削減効果、利用者の評価はどうか等について質問。それぞれ担当局長や知事の前向きな答弁をいただきました。

この初の知事との質問戦の一部始終は、「TV神奈川」にて録画放映され、多くの市民の皆様もご覧になったことと思います。



文教常任委員会

県立高校統廃合等を巡り質疑

文教常任委員会でもおざわ県議は積極的に発言、提言を繰り返しています。

7月の第2回県議会では、全国紙で一斉報道された、「県立高校の耐震化率」全国ワースト1について早急な改善を求め、「地域の特色ある高校づくり」や「コミュニティースクール」等についても質問、要望をしました。

10月の第3回議会では、生徒数の減少対策としての“県立高校削減”という衝撃的なニュースを取り上げ、その内容を質しました。その他グローバル社会へ向かっての人材育成のための「国際バカロレア認定校設置」、ハンディを持つ生徒も共に支え合い、成長できる「インクルーシブ教育の推進」、「スポーツ振興条例の制定」、「県立体育センターの再整備」等についても質問し提言しました。

12月の第4回議会でも質問致しますが、新人の文教常任委員として今後共精力的に活動してまいります。



小田原市ほか県西2市8町

地域への熱い想い

県内の政令市を除く30自治体から、県政や国政への要望を自民党県連としてお受けする“市町村ヒアリング”があった。おざわ県議は地元小田原市を始め県西2市8町を担当。各首長からは、重点施策への支援や予算獲得への熱い想いがひしひしと伝わってきた。

平成27年
市町村
ヒアリング



建設関連団体担当議員として

県内の各業界諸団体から、県施策や予算への要望をお受けする平成28年度予算要望団体ヒアリングが、去る7月行われた。厳しい社会、経済状況の中で、各業界、団体の自民党県連への期待は大きく、おざわ県議は、建設関連団体担当議員として、今後の活動を心に期した。



水源林を守る、治山、林道

神奈川県も小田原市もエリアの40%が森林地帯である。「神奈川県森林・治山振興議員連盟」の一員としておざわ県議も、去る11月、小雨降る中、津久井地域の与瀬水源林、神の川林道、製材工場等を現地視察。県民の安全安心な水源を確保する為の蓄積を実感した。



神奈川パラ・スポーツフェスタ

去る9月20日、小田原アリーナに於いて、「神奈川パラ・スポーツフェスタ」が、2020年の東京パラリンピックを盛り上げるため開催された。ハンディを持ちながらも明るく元気良い参加者たちとおざわ県議も楽しく交流した。



頑張る都市農業視察

県農協中央会等と共催し、おざわ県議も会員の「神奈川の農業を推進する会」の“都市農業現地検討会”が横須賀地区で開催。キャベツや大根の圃場、農産物直売所“すかなごっそ”の視察、「JAよかすか葉山」での意見交換会、とおざわ県議も有意義な一日を過ごした。



現場主義に徹する
おざわ良央よしなか県議
熱暑から年末へ。
おざわ県議の政務活動は少しの油断もなく続く。
若さと情熱が新人県議の財産である。
大きな課題、小さな課題。常におざわ県議は“現場主義”にこだわる。

新人県議、疾走る！
疾走ッ
ハッ

真鯛の
稚魚放流
炎天下の8月2日、小田原漁港のみなと祭りが、今年も盛大に開催。おざわ県議も相模湾の水産資源増殖のための稚魚放流を体験。豊かな小田原の海の継続を願った。



県議会文教常任委員会視察

県内調査

文教常任委員会の県内視察が去る9月行われた。

県外調査

他県の実情を調査、把握し、神奈川県政へ反映させるべく、おざわ県議の属する文教常任委員会は、去る8月、三日間にわたる県外視察を実施した。

東京都教育委員会では、2020年東京五輪を契機に、児童、生徒達はその歴史や意義、国際親善、社会貢献等を学ぶ、オリンピック・パラリンピック教育を推進。

宮城県教委では、東日本大震災の教訓を受けて、防災教育の推進体制を整備。

北海道岩見沢農業高では、「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受け、農業科学技術系人材を専門校として育成。また、札幌市立札幌開成中等教育学校は、本年

4月中高一貫教育体制のもと再編整備され、今後世界に通用する人材教育のための「国際バカロレア」認定校を目指す。

新しい時代の県教育をどう展開して行くのか。東京都、宮城県、北海道と大きな示唆を与えられた県外視察であった。

藤沢市の湘南台高校では、「県立高校教育力向上推進事業」の教育活動開発校（シチズンシップ教育）に指定され、政治参加、司法参加教育を進めている取り組みを視察、総合教育センター善行庁舎及び体育センター、また亀井野庁舎では教育相談センターも視察。東京五輪へ向けて老朽化した施設の整備と機能の充実への取り組みを視察。実り多い一日となった。



東京五輪へ向けて老朽化した施設の整備と機能の充実への取り組みを視察。実り多い一日となった。

酒匂川河川敷スポーツ広場

かんすいすんぜん!



去る9月の台風18号は県内にも大きな被害をもたらしたが、酒匂川河川敷スポーツ広場も冠水寸前の状況にあった。被害状況の視察におざわ県議も市内を駆け巡った。



知事・議長に優勝報告

東海大相模高夏の全国大会制す!

今夏の全国高校野球大会は、神奈川県代表の東海大相模高校野球部が、並みいる強豪校を制し優勝。早速県知事や県議会議長に優勝報告のため訪問。同校OBのおざわ県議も同行し、選手達と共に喜びを分かちあった。



身近な県政を目指して 県政アピール!

県政が良く分からない! 多くの市民からの声をお聞きし、新人県議としてようやくひと通りの経験を重ねたおざわ良央県議は、地域へ出向き、自身の初体験から得た〈県政〉の具体的な説明と、政策をアピール。分かりやすいおざわ県議の説明や県政報告に、参加者から多くのご意見、ご要望も寄せられ、『県政が住民のためにあると実感させられた』とのお声をいただいた。



望まれる道路整備の促進

市内都市計画道路の中でも最も工事促進が望まれる《城山・曾比線》《穴部・国府津線》であるが、県財政事情もあり、なかなか進展しない。他にも含めて市内道路整備へ向けておざわ県議の活躍が期待される。

